新京日日新聞
夕刊
七月十八日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓（郵税一ケ月五十五錢）
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

時局は最後的段階に逢着

最後的重大決意を支那側に通告す
大城戸大佐公文を手交

〔南京十八日發國通〕南京駐在武官大城戸大佐は十七日午後六時何應欽氏又は確實に何應欽氏を代表する人物に對し會見を求めたが、何應欽氏は多忙の故をもつて面會を拒絶し、軍政部政務次長曹浩森氏が代つて會見した席上大城戸大佐は次の如き重大警告を行つた

國民政府は梅津、何應欽協定を無視し中央軍を北上せしめ、又は空軍を行使するが如きことあらんか、日本軍は必要と認める措置に出づることある可く、その結果如何なる重大事が發生してもその責任は全く國民政府にあり、日本軍の關知するところでない

右通告後、大城戸大佐は次の如き公文を手交した

昭和十年五月十一日より同年七月九日に至る期間において在支日本および中國兩軍事當局間に成立せる諸諒解事項を無視し、中央軍（航空兵力を含む）を北上せしめ、または航空兵力を行使せんとする態度をとるが如き場合においては日本軍はその適當と信ずる處置に出づることあるべく、右により發生することあるべき一切の事態に關する責任は國民政府にあることをこゝに通告す

昭和十二年七月十七日
日本帝國陸軍南京駐在武官步兵大佐　大城戸三治

中央軍對日本軍の直接衝突の危機
南京政府外交部極度に緊張

〔南京十七日發國通〕支那官邊は大城戸大佐の通告をもつて、從來廿九軍對日本軍の現地交渉を中心に動いてゐた時局はまさに梅津、何應欽協定をめぐる中央軍對日本軍の直接衝突の危機を加へ、双方相俟つていよいよ時局は最後的段階に達したものと認め政府各機關および外交部は極度に緊張してゐる

何應欽を中心に緊急聯席會議開催

〔南京十七日發國通〕大城戸武官より正式文書による重大警告を突付けられた軍政部政務次長曹浩森氏は、直ちに何應欽氏に對し委曲を報告したが、何應欽氏は時を移さず軍關係要人の緊急聯席會議を開催し、深更に至るまで數次にわたり廬山の蔣介石氏と電話連絡を重ねつゝ協議を續けてゐる

洛陽に空軍續々集結

〔南京十七日發國通〕鄭州來電によれば北方作戰空軍根據地と決定した洛陽では續々と南方より飛行隊を集結する一方、晝夜兼行で防空設備を急いでゐると傳へられてゐる

一兩日中現地折衝重大なる分岐點
これ以上事態の遷延を許さず

【東京國通】支那側の不誠意に基く交渉遷延に對し、帝國政府は十七日五相會議を開き支那側諸約實行に對し重大決意をなすに至り、一兩日中に香月支那駐屯軍司令官と冀察側宋哲元氏との間に右諸約實行方に關し折衝が開始されるものと見られるが、事こゝに至つては更に事態の遷延は許されず速かなる解決がなされざる限り、支那側に誠意なきものと斷定せざるを得ず、斯くてはわが北支派兵の重要意義に鑑みても、日支間の關係は如何なる狀態にたち至るやも圖られず、わが諸約實行要求に對し、支那側が誠意を以て事に當るか否かは、今後の事態發展の重大なる分岐點をなすものとして、こゝ一兩日中の北支に於る現地折衝の進展は最も重大視される

陸軍當局聲明

〔東京國通〕陸軍では十八日午後零時十分當局談の形式をもつて左の如く發表した

支那駐屯軍は事變發生以來事變不擴大、局地的解決に忍び難きを忍び異常の努力を續けてゐるのであるが支那側は七月十一日夜すでに解決條件に調印しながら今日までこれを迅速適確に實行するの誠意を示さざるのみならず、一方南京政府に於ては南方にありし兵團を逐次北上せしめるなど對日開戰準備を進める兆し歴然たるものあるので、無期限に支那側の誠意實行の日を待つは不安定を永續かつ駐屯軍の自衛および居留民の保護上危險を增加することゝなり、ひいては徒らに時局を擴大するの結果となるの虞れがあるのでわが方はこの際支那側に對し解決條件を速かに履行せんことを督促して爾後におけるわが方の態度を端的明確ならしむるの資となさんとした次第である

例外の一燈が新京市を滅す
‖準備演習綜合講評‖

前後五日間に亘つて擧行された新京地區準備防空演習の結果につき新京統監部では十八日午前九時半から關東局内統監部に於て各委員出席の上演習全般に亘り種々隔意なき意見を交換、來る可き全滿防空演習に新京地區の完璧の守備を發揮す可く左の如き總括的講評を發表した

準備演習綜合所見

本準備演習は五日間の長期に亘り行はれたが其成績は日一日と良好になり最終日の十七日夜の燈火管制の如きは第一日に比すれば格段の進歩を見せこの分ならば實戰の際も大體首都防空の目的を達し得るものと思ふ又各所で盛んに防護訓練が行はれたが一、二の特殊防護團を除きその成績は良好で市民も五日間の體驗により防空に對するある程度の自信を得た事と信ずる、然し現在吾人の直面して居る危機を思ふ時國都の防空はあくまでその完璧を期さなければならぬ、從つて市民各位はこの準備演習に依つて昂揚された熱度を緩むことなく全滿防空本演習否事實上の非常時に對處して遺憾なからしむる爲更に一層の努力を傾注して戴きたい

準備演習の結果に基き早速改善すべき主なる共通事項を擧ぐれば左の通りである

一、一般に防空知識がまだ〳〵幼稚である、老幼男女を問はず今一層進んで防空知識の吸收に努められたい警察官防護團等は市民を叱る機關ではなく市民と共に防空に任じてゐる人々であるからこれ等の人に就いてもよく話し合へば理解が更に深まるのではないかと思ふ

二、カバーやカーテンの施設は未だ不充分である、演習前警察の手に依つて施設の檢査が行はれた際この電燈は絶體に使用しないからとの理由でカバーを備へつけなかつたものが相當ある、ところが非常管制の際光を漏らしたものは皮肉にも多くこの種の電燈からである不必要な電燈をわざ〳〵設へてある家はないのであるから總ての電球にカバーを設備する事が演習でなく實戰に備へる爲是非共必要なことである

三、非常管制中に光りを殘す家は大體決まつてゐるやうである、例外として殘された一燈が新京市を滅す結果になるのであるから指導者も近所の人々もこの種關心の薄い人には親切に教へて上げるやうにしたいものである

二十二日から今一度實際通りに狀況を進めて演習が行はれるからそれ迄に不充分の點は早速改善を希望する

準備演習終へ召集演習
整然日本人の感を深からしむ

五日間に亘り新京防空準備演習に國都防備の完璧を期し不眠不休の活躍に銃後の勇士として市民の絶對の

信頼

とその認識を新らたにせしめた附屬地區防護團の召集演習は十八日午前八時より昨夜の雨に洗はれ緑も濃き新京神社前中央通りに於て擧行された、定刻八時連日の活動に疲勞の色もなく團員千五百名參集、神社に面して所定の位置に整列を終れば直ちに藤島團長の閲兵あり續いて分列式に移る、この分列式は始めてのこゝろみで中には紅一點にも似たふり袖姿にまた白衣の女子軍も交り幾分危ぶまれたが行進開始されるや參觀者をして〃さすがは日本人だ〃との感を深からしめる堂々たるものであつた、かくして八時卅分勇壯なる分列を終り新京神社の祈願祭に參拜、皇軍の武運長久を祈念の後藤島團長より『附屬地區防護團長として各位に面接する機會を得たことを欣快とする』と新任の挨拶を述べ、準備演習の間團員の連日演習に訓練に不休の活動に對し感激し、滿洲國四圍の逼迫せる情勢を說いて樂觀を許さずと一層の奮起を促し、今次の演習に鑑み將來の希望注意を述べ、さらに

將來

の團結を强調し猛暑の砌り各位の健康を祈るとの一場の訓辭あつて午前九時今後團員相互の强固なる團結を誓盟して意義深き召集演習の日程を終了解散した

人事往來

着京

▲松田四郎氏（滿鐵）十七日來京ヤマトホテル
▲平島堯氏（會社員）同
▲渡利哲氏（東京火災）同
▲上野誠一氏（大阪商大教授）同
▲井上直太郎氏（會社員）同
▲安井光氏（教師）同
▲福島一郎氏（官吏）同
▲渡邊得男氏（大日本ビール）同國都ホテル
▲一井新次氏（同）同
▲山本寛氏（同）同
▲川勝作二氏（釀造業）同
▲川村喜一氏（會社員）同
▲志田正雄氏（台南高工教授）同
▲濱井弘氏（書籍商）同
▲辰村米吉氏（請負業）同
▲波多野幸一氏（鐵工業）同
▲前田吉哀氏（日本曹達支配人）同
▲長谷川義一氏（同社員）同
▲宮本幸三郎氏（外務局）同富士屋
▲林親時氏（大盛公司）同
▲飛田廉造氏（官吏）同
▲田中二郎武（同）同國際ホテル
▲内田幸吉氏（商業）同
▲玉木米藏氏（同）同
▲北原一雪氏（同）同
▲三宅琢磨氏（吉林高等法院）同
▲片岡精氏（請負業）同
▲雨田信行氏（印刷業）同蓬萊ホテル
▲淵野康之氏（商業）同
▲渡邊留吉氏（滿洲航空）同
▲宮晋一氏（滿鐵）同

出發

▲山崎龍一氏　十七日發奉天へ
▲澤鑒治氏　同
▲上田好一氏　同
▲梅田千代松氏　同
▲永留弘氏　同
▲安藤一郎氏　同ハルビンへ
▲柴田四郎氏　同
▲森鷹三氏　同
▲坪野芳氏　同
▲加藤明氏　同
▲楠井貫一氏　同
▲富永藏雄氏　同
▲下村信貞氏　同
▲前武久男氏　同
▲遠藤榮一氏　同撫順へ
▲倉内勇氏　同チチハルへ
▲村田懿麿氏　同大連へ
▲海老孜氏　同
▲長谷川義人氏　同
▲門石昌氏　同
▲中村安三氏　同
▲山田勝彦氏　同
▲柏原一馬氏　同
▲藤本兼吉氏　同
▲竹村茂孝氏　同阜新へ
▲平石榮一郎氏　同
▲田中吉政氏　同東京へ
▲平松明氏　同錦縣へ
▲宇田一氏　同奉天へ
▲利行曉生氏　同
▲妹尾正熊氏　同
▲今立一直氏　同
▲内藤十郎氏　同ハルビンへ
▲中田耕作氏　同
▲志田正雄氏　同
▲三上新氏　同
▲平里修二郎氏　同

その日〳〵

□ 拔くべし寶刀、國論は恰かも日露戰前にも似て統一、列國亦我が立つべきを諒解

□ 破邪顯正の劍行くところ、その威を信じつゝ武運の長久を祈るのである

□ 避暑地の山上から全國に號令しやうとする如き、あちらとは大いに違ふ

□ それにしても並べたり彼の配置、さながらに新軍閥のオン・パレイド

□ 英支款見込薄はこの際大痛事であらう、夜半に嵐の吹かぬものかは……で

記事輻輳に付き『白い天使』休載

この擧國的銃後の聲援を見よ

暴戾極まる支那 斷乎討つべし

國論既に一元國都に擧る 感激の聲援力强し

支那積年の抗日侮日は遂に蘆溝橋事件となつて現はれた、今まで隱忍自重してゐた帝國政府は茲に暴戾支那斷乎討つべしと强硬毅然たる方針を決定、無敵鐵兜陣は神州の寶刀を提げて堂々波濤を越へ鐵蓉かす北支の山野に支那膺懲の聖戰は正に展開されんとしてゐる、對支國論定まるや日本各界は國體の精華を發揮して見事な擧國一致を見せ出征皇軍に對する恤兵金慰問袋神佛の朝詣で千人針供養など有形。形の憂國の赤誠は到るところ焰へ盛つてゐる、帝國生命線の第一線に在る同胞の銃後の國防熱は彌が上にも高揚され現地皇軍將士の勞苦に對する感謝と慰問の赤誠は怒濤の如く殺到してゐる

武運長久・安全祈願

北支事變に關し國威宣揚と皇軍の武運長久、邦人安全の祈願祭は十八日午前八時から新京神社の大前で嚴かに執行された、〃暴戾支那斷乎討つべし〃と愛國の熱情たぎる市民は官民を問はず陸續と參集して忽ち拜殿を埋めて了つた、祭典は形の如く神職の修祓獻饌があつて植村神職恭しく祝詞を奏上、ついで玉串奉奠に移り柴崎總領事代理、關東軍原大佐、駐滿海軍部林副官、鄕軍聯合分會岩坂副長、鯉沼特別市財務處長、東條國婦本部長、星野同支部長其他各機關代表玉串を奉奠衷心皇軍の武運長久を祈願して閉式した、式後附屬地區防護團、滿鐵特殊防護團々員約三千名の團體參拜があり、一般市民の隨意參拜は終日引きも切らず一種悲痛な雰圍氣がみなぎつてゐた

夜明け前の社頭 〃捧げ銃〃の一隊

中學生、少女など祈願の群

北支事變勃發以來新京神社には曉の星を頂いて武運長久を祈つて社頭に額づく隱れた憂國の士が續々と現はれ非常時氣分を多分にたゞよはせてゐる、記者は現地皇軍の武運を祈り且つ朝詣の模樣を尋ねて十八日の拂曉新京神社の神域を訪れて見た、夜の帷に包まれた鎭守の杜は針一本落ちた音でも聞へる位にあくまで靜寂だ、神前に額づき木蔭のベンチに腰を下ろして待つこと暫し腕時計の針が午前三時五十分を指した頃一台のオートバイが鳥居前にぴたりと停止ひらり飛び降りた一准尉、默々と參道の玉砂利を履んで神前に額づき懇ろに默禱を捧げて退出、あとはまたもとの靜寂だ、やゝあつて北の門からザク／＼と靴音高く一隊の兵士が隊伍堂々と參入「捧げ銃」指揮者の齒切れのよい號令を殘して神域は再びもとの靜けさに還つた、時計の針が廻るにつれて東の空は漸く白んでくる、四時四十分を廻つた頃下駄穿きに中學生制服の少年と洋裝の少女の一組が神前に懇ろな祈りを捧げて立ち去らうとするのを捉へると宇戸悅子さん(二十二)哲郎君(一五)の姉弟だ兩名ともはにかみながら

北支の兵隊さん方のことを思ふとお氣の毒です、皇軍の武運長久をお祈りするのは私達の勤めです

と言ひ殘してあたふたと歸つて行つた、斯くて五時、六時と時計の針が廻るにつれて袴に威儀を正した紳士態の人、印半纏の店員さん、若い夫婦づれ等々六時過ぎまでに約五十餘名の參詣者があつた、記者はこの愛國の發露にすつかり感激させられて神域を辭した

八十の老媼も毎朝 武運長久を祈願

經王寺に溢るゝ戰時風景

市內曙町二丁目日蓮宗經王寺では大正十三年以來毎日雨が降ろうが日が照らうが午前九時に國家安泰、國民安全祈願念佛を續けて來た、これには兵隊婆さんで有名な中央通り富士屋旅館清水トラさん(八二)を始め三笠町三丁目あづま壽司女將南原キミさん、曙町二丁目東華看護婦會々長岡沼千代さん、敷島通り長崎平次郎氏、三笠町二丁目河久方河村チヨ子さん、富士町二丁目蔘の家女將楠野タマさん等は數年來毎日かかさずお詣りしてゐる、それに日增しに參詣者は增へて最近事變勃發以來五十數名の參詣者が毎日皇軍の武運長久の祈願を捧げて、うるはしい戰時風景を描き出してゐる

國婦會員 忠靈塔清掃

新京國防婦人會東條本部長星野支部長、各會員は十八日午前九時から忠靈塔境內の清掃作業に奉仕し終つて塔前に於て關東軍山本兵事部長から二時間餘に亘つて時局に關する婦人の覺悟に就いて有益なる講話を聞き更に白菊小學校裏の空地で防空協會高木主事から燒夷彈及び毒瓦斯の威力に就いて講話を聞き實地試驗を見學して解散した

白系露人に この感激

擧國一致時局を反映して澎湃として起りつゝある銃後の熱烈なる支援は當局をしていたく感激せしめてゐるが、哈爾濱在住全白系露人は東亞和平のため敢然立つて北支第一線に勇躍する日本軍將兵のために獻金するに決定、十七日代表として白系露人事務局長バークシエフ氏が特務機關を訪れ慰問金五百圓を駐屯軍司令部宛送附方を依賴した、當局をはじめ各方面では大いに賞讃感謝してゐる

忠靈塔に額づく者 日と共に增加

愛國の至誠、感激に泣く

北支事變勃發の報傳はつて以來滿洲護國の英靈安らかに鎭まります新京忠靈塔の參拜は遽かに激增し今まで一日三、四十名に過ぎなかつた參拜者は一躍百餘名にはね上り曉天冷水を浴びて皇軍の武運長久を祈願する老翁、いたいけな小學生などいづれ劣らぬ愛國の至誠は見る者聞くものをして感激せしめてゐる、忠靈塔の守りに奉仕する吉田勉氏は謹嚴な口調で

北支事變以來參拜者は急に增へました、午前三時頃から曉にかけて境內の小砂利を踏む足音は引つ切りなしです、最近特に目立つのは小中學校の生徒の多くなつたことですが、中には滿洲國の中學校の生徒も相當參拜するやうです、參詣簿に記名されるのは四、五十名ですが境內を清掃してそのまゝ歸られる方のほうが多い樣です、特に變つた方は見受けませんが數年來一日も欠かさず參拜してゐる岩坂杢三郎、本城總太郎、李永韶の三氏は今も相變らず續けてゐます

と語つてゐた

國防婦女會で 皇軍慰問金募集

滿洲國の銃後を護る國防婦女會首都本部では盟邦日本の北支における行動を全面的に支持する政府の方針に順應して日本軍隊慰問の寄附金を會員及び一般から募ることになり十七日各分會宛てに指令を發した

南防衛地區の 警戒管制解除

防衛司令官命令

北支事態の重大化に鑑み去る十三日發令された南防衛地區の警戒管制は十七日午後二時園部防衛司令官より左の命令が下り解除となつた

南地區命令

一、北支の情勢は尙險惡にして豫斷を許さず

二、南防衛地區は今日警戒管制を解除すると共に事後速かに防空警備の諸準備を完了せんとす、本十七日警戒管制を解除し、且つ防空、監視、通信ならびにその他の諸勤務を中止すべし

但し非常に際し速かに豫定の部署に就き得るの準備を完了しあるべし

なほ本解除間といへども廣告、看板、裝飾燈類および百觸光を超ゆる各種屋外燈は依然規定に從ひ管制すべし

1

2

3

4

5

春乃家の一同 本社を通じ獻金

富士町三ノ十二料亭春乃家從業員一同は北支事變獻金を思ひたつてゐたところ、たまたま本社取扱ひの社告をみて、早速十八日午前中不景氣の折柄誠に僅少ですが、皇軍勇士慰問の足しにして下さいと金十圓五十錢を依賴して來た

實業界を翕合して支持

新京商議聲明

北支事變に關する日本國民銃後の赤誠は擧國一致事變獻金慰問袋、激勵電となつて現はれてゐるが新京商工會議所では十七日役員會議を開き時局に對する態度を闡明し且つ第一線皇軍將兵に對し深甚の敬意を表することになり左の如き聲明書を發表した

今次北支事變に對する帝國政府の斷乎たる措置は我權益擁護上當然にして吾等は實業界を翕合結束し全幅の支持と協力を竭し擧國的統制の下に一致團結以つて銃後の奉公を致し禍根の絕滅を期す、なほ酷暑炎熱の下に奮闘せられつゝある我將兵に對し深甚なる敬意を表す

昭和十二年七月十七日 新京商工會議所

少年獻金 寫眞機代を

永い間の望みが叶ひ、母から寫眞機代として與へられた小遣ひを「東洋平和のために命をかけて働く兵隊さんに」と投げ出した感心な少年がゐる この美談の少年は祝町二の一石川アパート經營者石川余四郎氏二男新京商業二年生の一男君(一六)で、一男君は一年前からお母さんに今年の夏には寫眞機を買つて貰ふ約束があり、望み叶つてこの間寫眞機代として金三十圓を頂いたが、折も折北支の戰雲頓に急を告げるに至つたので酷熱の下で活躍してゐる皇軍のことを思ふと寫眞機をもつて遊んで安閑と日を送るのは濟まないことだと氣付き、早速十七日夕刻新京署を訪れ少年らしい感激を盛つた手紙を副へて右三十圓を皇軍慰問金として獻金、名も告げず立ち去らうとしたもので署員一同を痛く感激させてゐる

木下莊氏夫人

市內錦町一丁目滿洲パルプ常務木下莊氏夫人はかねて滿鐵新京醫院に入院中のところ養生不叶去る十四日午後一時五十八分死去、二十日午後四時より五時の間祝町太子堂で佛式により告別式が執り行はれる

あす(十九日)

▲時局講演會、午後四時、協和會館 ▲野球、慶應對電業、午後四時半、西公園球場 ▲白井畫伯個展、三中井

今晩の主なる演藝放送

▲七・三〇國民歌謠「旅人」木下保 ▲七・三五俚謠ラプソディ「大漁節と伊那節」井上貫也外 ▲八・〇〇季節の手帳「夏」望月美惠子外 ▲八・二五古典歌劇「竹取翁と九人の處女」澄川久外大ぜい ▲八・五〇ラヂオ小說花布辰男外 ▲一〇・〇五長唄綱館曙連中若千代外

映畫と演藝

演藝上半期覺書 (1)

天野光太郎

吉例の公會堂正月興行は、萬才ミス・ワカナで蓋を明けた、名前も悪くなし、粒も揃つてゐたから三日までは相當の入りを見せたが、四、五日はガタ落ちした、之に五日間といふ興行が長過ぎた結果である、七日、八日が東京少女劇、之も七分の入り、九、十十一日が又モダン漫才やつこ會、萬歳よりはレヴューに近いもので、實質は悪くなかつたが、同じ物が續いた爲か成績は香ばしくなかつた、十二十三日が特選浪曲大會と銘打つて、東武藏、東家樂遊、女雲月の一行、始めての浪花節で一寸受けた、續いて十六、十七、十八日が浪曲浮世亭雲心坊、各大家の聲調をソックリ再現する物眞似の名人、評判は良かつたが入りはやつと五分で氣の毒だつた、二十、廿二日が漫才「呆れた連中」奴會と似たり寄つたりの物で萬才もかう續いてはお客も飽いて了ふ、毎日漸く二、三百の入りといふ慘めさだつた、此外には西廣場社員倶樂部に二三日酒井如雲が社員慰安の名義で掛つたが、全然問題にならなかつた、かくては一月の演藝界は不振の内に終つた

○

二月はずッと不漁でやつと十六、十七日に浪曲吉田小奈良、之は先づ六分の入り、十九日より四日間喜劇女王女五九郎、之が恐ろしく受けて三日間は滿員客止めの盛況、割引七十錢といふ安木戸のせいもあらうが、何が當るか解らぬ、これだから興行は止められぬと云つたかどうだか、調子に乘つて一日日延べをしたらドカッと落ちた、何にせよ本月始めてのヒットだつた、續いて二十四、五が陪審法摸擬裁判劇、之が又二日共大入りで主催者を面喰はした、二月の興行は僅にこの三つ、その代り朝鮮人側の催物の多かつたのは注目される、先づ七日が鮮人經營の新京幼稚園主催の音樂舞踊會、十二日が普通學校の音樂會、十三日が白鳥會主催の朝鮮劇、何れも滿員の盛況だつた、十五日にミッションスクールの慈善音樂舞踊會があつたが、此種の催しに不馴れの爲か成績は悪るかつた、二十三日は恒例の新京放送局主催の萬壽節慶祝兒童大會、五族の兒童の音樂舞踊競演で賑つた、二十七、八日は又朝鮮劇兄弟座、入りはたいしてよくなかつたようだ

不振の二月に唯一つ明星のやうに輝いたのが、二十七日の西廣場倶樂部に於ける、エルマン提琴演奏會、滿洲結核豫防會主催で會費三圓に二圓五十錢、入場者千二百のレコードを作り、國都文化史に一エポックを劃した、その翌日が江口隆哉、宮操子の新興舞踊、昨年も來て今度で二度目だが、惜しいことには前回同樣全然認められず、おまけに惡興行師に引かゝつて立往生するの悲劇を演じた

テンプル新作ちかく入荷す

シャリー・テンプルの新作でキップリングの詩の映畫化「ウイ・ウイリイ・ウインキー」が近くフオックス社へ入荷するこれにはテンプルに初めての相手役として「憂國の志士」でネルソンの少年時代に扮したダグラス・スコット少年のほかビクター・マクラグレンジューン・ラング等が共演してゐる、監督はジョン・フオード、なほテンプルの次回作はヨハンナ・スパイリー原作「ハイヂ」と決定、アランドワンの監督で着手した

役者の娯樂版が吸引力を充分に發揮したらしい、時局柄と言はうか、これで北支事變のニユースでも入れば尚更ら効果はよかつたであらう▼次週は豫定プロを變更して「南海のペーガン」「海賊ブラット」「社長樣お出で」の三本、「ターザン」はその次へ「近代脫線娘」と組んで登場する▼新キネ、豐劇の新しい企畫が發表された、好意の寄せられるものである

海外だより

△RKO社では此程ジョセフ・ホフマン原作の「ロマンス・ツウ・ザ・レスキユウ」の映畫化權を獲得、コンスタンス・ビール主演で製作することになつた

△モーリス・マスコムイッチは二十世紀フオックス社の「少年槍騎兵」に出演することになつた

△著名なバリトン歌手レイ・ミドルトン氏は今度パラマウント社に歌手スタアとして迎へられた

△メトロ社の大作、クラーク・ゲイブル主演「サラトガ」にはフランク・モトガン、ウオルター・ロビンス等も出演と決定した

△カザリン・デ・ミルは今度ソル・レッサーと契約、廿世紀フオックス社の「カルフオルニア人」にリカード・コルテッツ、マジョリー・ウイーヴアーと共演する、寫眞はスタア行進曲のヴアージニア・ブルース

雜音

帝都キネマ土曜日の入りは雨に幸ひされていゝ入りを見せる、戰爭もの二本に人氣

さぼてん

由來〃はるみ〃と名乘る女には肉體の發育良好なのが多いらしい▼たとへば亞細亞會館の春海―「あたし、痩せやうと思つて煙草を吸つたり減食したりするんだけど一向駄目なのよ」等と言つてどうしりとソファの三分の二ぐらゐを占領するのである▼シゲ坊に行けばまたハルミあり、この人はあまり物言はんが肉が垂れて來そうな眼をしてニッと笑ふのである▼新興といふ店を問へば晴美あり、これも榮養良き由或る方面の證明濟といふ▼或ひは「張る身」とでもいふ積りなのであらうか、夏痩と答へてあとは眼に涙なんて素振りをしてみたくはないデスカ？

月曜 丁未 大安 建 張宿
七月十九日 舊六月十二日

●一白の人 短才自ら事を過つ賢者の意見に從ふが安全 乙と辰と庚が吉

●二黑の人 斷崖に立ちて足元狂ひ膚に粟を生ずる如し 丙と壬と癸が吉

●三碧の人 目上に見放され物事赤思ひ通りに運ばぬ日 甲と乙と申が吉

●四綠の人 過大なる望みを起して恒產をも失はんとす 甲と乙と申が吉

●五黃の人 他念なく生業に出精すれば基礎益堅固なり 乙と丁と壬が吉

●六白の人 勇氣衰ふれば計畫も挫折す一層奮起すべし 丁と申と癸が吉

●七赤の人 根氣好く從前の方針にて進めば大吉となる 申と癸と丑が吉

●八白の人 溫健なれば次第に希望に近づく事を得る日 壬と癸と丑が吉

●九紫の人 運氣盛大にして美事なる發達を遂ぐべき日 未と辛と丑が吉

日日案內

頭書◇三行一回金六十錢
◇被履度一回金四十錢
◇五行一回金八十錢
◇十行一回金一圓八十錢

雜件

電話 至急讓度し御希望の方は 電（2）一三七六

店員 數名急募本人來談 但し午前中 三笠町 盛倉商店

代書 民刑訴訟會社設立手續タイプ印書は領警前日滿堂で 電③二四五四

代書 とタイプ印書は迅速確實な領事館正門前滿洲堂で 電③五一三六

極上 柿澁 クエン酸 日本橋通 國際藥局 電③五三九五番

鑛山 出願手續新京羽衣町二丁目 江川鑛務所 電③三五〇五番

青寫眞 燒付 新京中央通〇四 青陽社 電③五八二五番

カメラ 中古買入交換歡迎 東二條通 大黑屋 電話③二五四八番

空間あり 高級下宿 大同公園 **大雅莊** 電②二七七六

簡易宿泊所 城內東四馬路二八 公益旅社 電②一七五〇番

電話 至急安く讓たし 入舟町三ノ一二三橋守 電話（3）三七〇九

サック 風化し易く用をなさざる品多し御用は専門の當店に限る 新京名物 **性の百貨店** 富士町二ノ一五

住宅を求む 八十圓位より百圓內外迄 滿洲興業銀行 庶務課 電話②三七九二 ②四五一二

募集

派遣と募集 永樂町東二條通り入島小學校前橫入り 永樂派遣婦會 電③三七六〇番

入會隨意 **慶應看護婦會** 經營 派遣婦會 新京梅ケ枝町三ノ十 電話3五六六九番

謠曲 寶生流謠曲 幸清流小皷 敎授 寶生流幸清流 毎土曜日午後六時より 祝町 太子堂 中込所 祝町二 大一カパン店 電話（3）五〇九六

タイピスト 生徒募集 菅沼タイプ 日本タイプ 綜合敎授 入學隨時 新京新發路（帝都キネマ前）菅沼タイプライター滿洲直賣所 附屬日滿タイピスト學院 電（2）四四五二 四四五三番

大募集 各一般女中及 臨時女中、看護婦、女給仕、女店員、女事務員、タイピスト其他雇主及求職者は至急申込れたし 女は（女子専門）の 新都職業紹介所へ ダイヤ街梅ケ枝町一ノ一四 戶坂ビル電（三）六七〇九番

人を雇はれるなら 本會へ 自彊會本部（平井） 東三馬路線電氣下 電（2）一〇八五 失業路頭に迷ふものは本會へ 男女を問はず

營業

印刷 新京永樂町三丁目廿六 三友社 電③三四三八

帳簿専門 三省堂製本所 三笠町三ノ九 電（3）三三三四番

紀元東京式 柵戸店 **硝子ケース専門** 一般家具も注文に應じます 曙町東本願寺前 志田製作所

鑛業 申出、出願 製圖鑛床 說明調查、其他 曙町四ノ六 三利鑛業社 電三一四六九四

看板は 玉江 電（3）二八二八 新京キネマ前

あんま 東一條橋詰 九州堂療院 電三一六五〇九

新茶入荷 新京浪速吉野町一 みどり茶園 電（3）四七七〇

ほねつぎ 中央通り 警察本署前 末松接骨院 電3二二〇三番

大和運輸公司 トラックに依る運搬 日之出町九ノ二 電3六九〇八番 引越及建築土木材料一般 農產物麻袋の準備有

お灸 家傳 脚氣 △胃腸病 淋病 △關節炎 婦人病 △痔疾 神經痛 ◇リウマチス 中央通大阪商船横 ハリ灸専門 清水鍼灸院 電話③六七二七番

ロシヤ菓子 內地みやげ・電話即時配達 中央通二十一 小包發送 勉强引受 三泰公司 電（3）二七四七

ほねつぎ 滿議病院東正門前 今辨慶整骨院 電話（③五三六一）

タイプ印書 飜譯・立案・代書 祝町二ノ一四 新滿社 電話（三）三三八七

鍼 あんま 灸 中央通九番地 電話（3）五八六七 五八六五 髙橋治療所

割烹 **溫泉料理** 新京ダイヤ街 **溫泉閣** 御宴会は特に御相談 三円會七品酒二本付 電三一五一二八五 六二八五

ハリ・灸専門 新京鍼灸治療院 松浦セイ子 永樂町一丁目四（寶山洋行前）電話（3）六二七八番 神經痛 胃腸病 リウマチス 喘息 ホルモン灸

都ホテル 新京 日本領事館正門前 電話（3）四八三七・六一六一番

安心散 花柳病特効藥 効果確實 浪速町二丁目十八番地 吉光堂療院

鍼灸 浪速町二丁目十八番地 東二條交番前 吉光堂療院 電（三）三七三六

御知らせ 食堂部 寫眞部 美容部 理髪部 營業時間 午前八時半より 午後九時半迄 新京興安大路一二〇 滿洲國官吏消費組合 電二一一八〇六

第七博多屋 質 三笠町三丁目二七 公會堂裏 電⑤五三三

男女あんま 家傳灸 淋病 梅毒 三回治療後無効返金 外陰性諸病 快喜堂 吉野町二ノ三 電③五二六〇

榮屋ホテル ハルビン永濟街 電話四九六八 六二四八

公認 取扱一切迅速 **電話貸借便利扱** 即時金融 帖名其他多額貸 ○貸借は老舗なる當社へ!! 東一條通り四六 新京土地建物會社 △電話相談部 電3四八二八

高價買入 金銀白金分析賣買 ㊒ 共立金銀店 新京富士町3-13 電話③3-2338

貸家御案內 本日の空家
◇曙町四丁目一六 家賃約一三〇圓 三室店舗向・家主赤羽根 祝町三丁目九、四電話（3）二三三四
◇曙町四丁目一六 家賃約一三〇圓 三室店舗向・家主同前
◇御問合は直接家主へ願ひます
◇貸家貸間掲載御希望の向は當所へ御一報下さい

電氣御相談
◉屋內電氣工事の設計監督は無料で致しますから相談所を御利用願ひます
◉御需用家單獨で會社の營業當局に依頼し難いことが御座居ます場合には御需用家の爲に御斡旋致しますから御心安く御相談下さい
◉其他廣告サインの考案設計職業用電熱の深算・家庭用電氣器具の使ひ方等に就ての御相談に應じます
◉燈火管制について御不審の點が御座居ましたら御遠慮なく御問合せ願ひます

電業支店 **電業相談所** 電話3 六五一一 二三五六

長春座 電3二七六

曠野の唄	1.47	6.38
安兵衛役者	2.54	7.45
大毎ニュース 大船畫報	4.19	9.10
金色夜叉	11.50	4.41	9.32

十五日より十九日まで　階下・八十錢

帝都キネマ 電2一四〇五　入場料階下五十錢　七月16日より19日まで

今日限りの命		1.44	6.42
タンネンベルグ		3.37	8.35
桑港	12.00	4.58	9.56

日曜日は十時四十分より

キネマ座 電③六四六五番　14日より18日まで　入場料四十錢均一

東日大毎ニュース	1.15	3.21	7.20
フランケンシュタインの花嫁	11.25	3.30	7.30
合歡の並木	12.40	4.25	8.35
四谷怪談	2.06	6.01	10.00 11.00

岸本チエーン映画御案內

豊樂劇場 15日より19日まで　階下七十錢

完全犯罪	12.10	3.30	7.00
男は度胸	1.20	4.40	8.10
銀翼の戰慄	2.25	6.00	9.30 10.35終

新京キネマ 15日より19日まで　階下六十錢

電話新選組		2.46	6.51
悅ちゃん乘出す	12.09	4.05	8.10
東日・大毎ニュース 謳へ春風	1.21	5.26	9.31 10.52終

朝日座 17日より19日まで　階下三十錢

班猫お銀		2.59	6.56
バイオレットお傳	12.03	3.37	7.53
切られお富	12.47	4.44	8.40
奴の小萬	1.53	5.55	9.46 0.52終

優秀映畫 コレクション週間 近日開催・乞御期待 豊樂劇場

本格的銷夏 ニュース 短篇劇場 近日開催 新京キネマ

小兒科（入院隨意・往診應需） 新京神社ノスグ前 **長春醫院** 院長 德丸スガ 電（3）六二四一番 無三善ひ

親切な店 タケヤ靴店 三笠町二 電（3）五二三六

家庭に保險 保險は大きくて確實な **日本生命** 次回後の取扱は 國都代理店 電話（三）五六三〇

お宿泊は格安で清潔な **甲陽旅舘** 新京大經路民政部前 電話2・一七四〇番

乳母車、三輪車 御好みの新型でとても廉價に 赤木洋行 電話三一二二七三 三一六九三三番

ビタミンA・B・D及び全榮養料配合 **パトローゲン** 世界的基準の國產唯一高級母乳代用品 御愛用者優待證附賣出中

再生エンヂンの交換品としてフオード工場へ返送されました舊エンヂンを拜見しますと低級なオイルが使用されたり、又弊社で推薦してゐる通り走行3,200粁毎にオイルが拔替へてなかつた跡が見えます

かうした狀態ではエンヂンが過度の磨滅を生じ、又ガソリンの消費量も增加します。オイルは是非優秀品質のものを御使用の上定期的に拔替へて下さい。そしてエンヂンは內部も外部も共に淸潔に願ひます

フオード特約販賣店では喜んでかうした手入れの御用命に應じます。　何卒フオードサービスを御利用の上、　諸經費の節約を願ひます

フオード特約販賣店　株式會社 滿洲モータース 新京支店　新京八島通三二

日本フオード自動車株式會社　本社 橫濱 子安　支店 大連市秋月町四番地　八三通田代千天拳　五街大城新區國貨館哈

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙一部五錢　一ケ月壹圓
定價一ケ月拾五錢
廣告一行（普通）壹圓五拾錢　（特別）武圓五拾錢
料金

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話（編輯局專用）（營業局專用）三三二〇五
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

支那軍遂に河北省内に侵入

第卅二師第五十八師

一部は保定、主力は省南部へ

第三十軍は正定に迄達す

【東京國通】十八日午後三時十五分陸軍省發表＝支那第三十二師及び第五十八師は既に一部を以て保定に、主力を以て河北省南部に侵入、第三十軍は正定に達せり、尚侵入せる中央軍の指揮者左の如くである

第三十軍長　孫連中、第三十二師長　池顯義、第五十八師長　兪濟時

蔣氏直系軍、約六萬を集結

【漢口十八日發國通】續々北上を開始しつゝある中央軍は第三十師、第卅一師、第四十四獨立旅第十師、第十三師等約五、六萬の兵力を保定、石家莊地區に集結せしめんと續々河北省に侵入せしめつゝあるが、右の内第十師は蔣介石直系の中央軍であり、明かに梅津、何應欽協定に違反するものとして事態は重視されてゐる、尚第三十師は馮玉祥直系で、馮治安軍とは友軍關係にあり、馮玉祥の前敵總司令のもとに對日作戰に參加するものとみられる

日本居留民を目標に

暴戾、廿九軍總射擊の體勢

【北平十八日發國通】北平城内廿九軍兵士の軍事施設は戒嚴令の緩和と正反對に逐日益々増强され、市内各交通要所に急設された土嚢陣は次第に數を増し、更に堅固となり、歩兵砲その他銃器、彈藥等の城内搬入が夜間頻りに行はれてゐること判明した、殊に十八日朝は東城日本居留民の密接區域に面し、且つ大使館區域東門への通路を瞰下する哈達門城壁の上に銃眼を開けた土嚢陣を二ケ所にわたつて築き、一朝有事の際日本人居留の大使館區域以南に向ひこれを總射擊し得る體勢を執るに至り、東城一帶居留民に多大の脅威を與へてゐる、そのほか西城には市政府北方軍警督察署前に塹壕を構築し、着々として戰備を整へてゐることが明かとなつた

北支事變畫報

（1）蘆溝橋の戰鬪に於て二十九軍が籠城頑强に抵抗した宛平縣城
（2）蘆溝橋の戰鬪に於て我軍の砲彈に見舞はれ破壞された敵陣地宛平縣公署
（3）慰問狀や激勵電報に感激して整理中の江頭副官と松村少佐
（4）警告
（5）〇〇に於ける國防婦人會の活躍

全武官參集

重大協議

【上海十八日發國通】帝國政府の重大訓令は十七日午後七時陸軍武官室に到着したが、同時に南京大城戶武官より曹浩森次長との會見内容の電話報告もあり、喜多武官は直ちに楠本、木村、宇都宮等全武官の參集を求め右訓令を中心に重大協議をとげつゝあり、官邸は深更に至るまで燈光煌々として極度の緊張を呈してゐる

戈定遠氏

蔣氏指示を宋氏に報告

【上海十八日發國通】冀察上海駐在辦事處長戈定遠氏は十七日早朝廬山に到着、直ちに蔣介石氏に面會し、廿九軍を代表して天津に於る日本側との交渉經過および冀察政權ならびに廿九軍の動向を報告した後蔣介石氏より種々の指示を受け直ちに宋哲元氏にその旨報告するところあつた

性懲りもなく

馬占山現る

【天津十八日發國通】かつての反滿抗日の英雄としておだて上げられた馬占山が名ばかりの軍事委員會委員として目下天津に不遇の身をかこつてゐるが、往年の英雄の味忘れられずとみへ蘆溝橋事件突發以來又もや性懲りもなく抗日運動に乘出し、頻りに宋哲元その他を煽り全面的衝突に導かんと策しつゝあり、これ等分子の活動は不祥事再發の根源をなすものであるものとして事態不擴大方針の下に隱忍自重してゐるわが方を痛く刺戟してゐる

華西火藥工場爆發

死傷四百餘名を出す

【上海十八日發國通】四川省重慶對岸江北にある華西火藥工場は排日戰のため連日連夜火藥製造を續けてゐたが、十七日午後三時突如轟音と共に爆發し工人七十餘名警備兵約四十名各々爆死し、三百餘名の重輕傷者を出したが、現場は死體や肉片が累々として慘鼻を極めてゐる

我が偵察飛行機

支那軍の猛射に應戰す

【天津十八日發國通至急報】最近中央軍が梅津・何應欽協定に違反し續々河北省に侵入中なりとの詳報に接し、支那軍の河北省侵入狀態を偵察するため小林曹長操縱、酒井少尉搭乘のわが飛行機は、十八日午前九時〇〇を出發、平漢鐵路に沿ひ南下中、元氏、順德の上空において北進中の支那軍より不法にも猛射をあびせられ、機體に數彈をうけたここにおいてわが飛行機は自衛上やむなくこれに應戰、敵軍の猛射を封じ無事歸還するを得たが、同機の偵察せる中央軍の北進狀況左の如し

正午頃順德附近を通過、北進中のものは軍需品を滿載せる貨車三列車（各列車は貨車廿輛乃至卅輛）および屋上に軍隊を滿載せる混合列車十數輛であつた、なほ順德南方には輸送完了し南下中の空列車をも發見したが、順德北方三十キロの馮村においては軍隊を滿載せる軍用列車が北進中でありこの北鴨營にも廿輛よりなる編成の一個列車軍用車が北進中であつた

小林曹長談

【天津十八日發國通】中央軍の猛射にひるまず勇猛果敢低空飛行をなし、偵察の任務を終へた小林曹長は十八日午後一時〇〇に歸還したが語る

午前九時〇〇を出發、平漢線の中央軍輸送狀況を偵察中順德附近においては色々の軍用列車が陸續として北進中なるを見、高度をグッと七百米にまで下げたところ列車の後頭部から俄かに白煙が濛々として立上るので、不思議に思つた途端翼にビシビシと彈丸が命中した、さては不法にもわが機を射落さんと集中射擊するものとみてとつたので、上空を三回にわたり旋回、應戰したところ該列車は停車して了ひ、列車から支那兵のころび落るのを見た、さらに元氏においても射擊を受けたが、これは高射砲か野砲らしく、大きな白煙が濛々と列車から上つて來た、この砲彈でも命中せば木葉微塵となるところだつたが幸ひ彈は外れて行つた、中央軍飛行機の根據地といはれてゐる大名上空に至るやわが機をみてはや着陸準備をしてゐるものが見へた、不可解なことだと思つたが支那機が最近翼に日章旗を描き平津方面を偵察したことがあり、支那機が歸還したものと早合點したものと判り滑稽だつた

安東總商會決議

【安東國通】安東總商會では重大時局に對處すべく十八日に會合を開き左の決議文を發表せり

日滿不可分關係による共同防衞の主旨に基き友邦と一德一心により東洋和平の基礎を確立せしめ流言蜚語に迷はず生業に安んずべし右決議す

漁夫の利をねらふ

抗日反蔣の廣西

白氏、首腦へ訓令發す

【廣東十八日發國通】北支事變の勃發以來白崇禧氏は廣西省内各地を奔走、廣西軍の結束を固め今後の事態が國民政府に有利に轉回すると或ひはその致命的打擊となるとを問はず、廣西が將來必ず有利地步を占める祕策をねつてゐるが、確實な支那側消息によれば、李宗仁氏は十七日桂林第四十六師司令部に百七十一、百七十二、百七十三、百七十六の各師團長及び綏靖公署參謀長張任民氏等廣西軍首腦十數名を集め次の祕密訓令を與へたといはれてゐる

一、抗日と反蔣とは廣西の二大主張で事態が如何に進展してもその主張に變りなし

一、廣西の抗日意識熾烈なことおよび抗日出兵の準備をなせることを極力全國に宣傳すること

一、全力を擧げて兵力を培養し萬一の場合に備へること

宋氏等、香月司令官訪問

陳謝の意を表す

【天津十八日發國通】十八日午後一時宋哲元氏ならびに張自忠氏は天津偕行社に香月駐屯軍司令官及び橋本參謀長を訪問し、今次の不祥事件を發生せしめたる責任者として軍司令官に對し陳謝の意を表した、なほ我が要求事項の實行に關しては引續き橋本參謀長と廿九軍代表張自忠氏との間に最後の打合をなすこととなつた、しかしながら右陳謝は十一日北平において調印せる三ケ條の要求事項に關する第二項を實行したのみにしてなほ複雜なる難點があり、更に中央の壓迫、廿九軍内部統制力の減退等伏在し、斷じて樂觀は許されぬ狀態にある

五相會議

【東京國通】北支の情勢はますます緊迫を告げ事態は遷延を許さぬものがあるので政府は十八日日曜日にも拘らず午前十一時半首相官邸に關係五相會議を開催、廣田外相、杉山陸相、米内海相、馬場内相賀屋藏相出席、先づ陸相、外相より北支における交渉と經過に關し詳細報告あり、これを中心に各閣僚よりそれぞれ意見の開陳があり帝國政府としては飽くまで既定方針通り事變の不擴大、現地解決主義を堅持し支那側の約諾條件履行を督促しこれが實行を嚴に監視し凡有る場合に處する萬全の方途を講じて支那側の出方を俟つことに意見一致し午後零時半散會、引續き靜養中の近衞首相を除く全閣僚會議を開き五相會議の結果を報告してこれを承認し、午餐を共にして午後二時散會した

近衞首相私邸で各閣僚と重要打合

【東京國通】近衞首相は麴町の自邸で靜養出來ぬので十八日五相會議に引續く各閣僚會議散會後、特に廣田外相、杉山陸相、米内海相の各閣僚を首相私邸に招き、北支事變に關する交渉經過ならびに現地よりの報告に基き重要打合せ

ケラー女史着奉

【奉天國通】殘された唯一つの觸覺を力に全世界の不遇者のため救ひの境地を切開いた三重苦の聖女ヘレン・ケラー女史は安東における講演を濟ませ十八日午後二時半市民多數の出迎裡に着奉したが、祕書トムソン女史に片手を托しつゝホームに降りたつた女史の物見えぬ瞳には言ひ知れぬ感激の色が漂ひ、その神々しくも痛ましい姿は並ゐる人々の淚をそゝつた、なほ同女史

を遂げた

米國は中立を守る

イーグル紙社說

【ニューヨーク十七日發國通】ブルックリン・デイリー・イーグル紙は、十七日の紙上の「極東の危機」と題する社說に於て次の如く論じてゐる

極東の危機は米國をそれに捲込む危險が非常に多い、米國は支那に於る權益擁護のため戰爭をする必要は少しもないばかりでなく、將來日支間に重大事態が發生すれば、米國は實際上日本の味方をすることゝならう

ルーズヴェルト大統領は事變に捲込まれるのを避ける政策を決定してゐることは明かである、米國はあくまで中立を守らなければならない

チャーナル・オブ・コンマース紙は十七日の紙上に「米の對支投資」と題する社說を掲げ次の如く論じてゐる

現在の日支衝突區域における歐米諸國の投資利益は滿洲においてよりは大であるが、歐米諸國の主なる對支投資地域は中南支であり、だから投資利益に關する限り北支の政情變化は大して重要ではない、北支の日支衝突に殊に米國は殊更神經を尖からす必要はない

陳海軍部長に

國府急遽歸還命令

【南京十七日發國通】南京政府は時局の重大に鑑み英國戴冠式參列後引續きロンドンに滯在してゐる海軍部長陳紹寬氏に對し急遽歸還方電命したは今明兩日に亘り萩町記念會館において講演をなす筈である

舊東北要人等

日本軍信頼を聲明

【奉天國通】前東三省軍長穆春、前熱河綏遠都統汲金純氏等在奉天舊東北要人は北支事變勃發以來その成行に多大の關心を拂ひつゝ靜觀を續けて來たが、日增しにつのる支那側の暴戾なる不法行爲に憤激その沈默を破り、前記兩名のほか十五名の連名をもつて十八日左の如き爆彈的聲明書を發表、事變に對する確固たる態度を闡明した

北支の風雲逐日險惡を加ふるに當りわれ等民衆は日本帝國政府の正々堂々たる聲明に對し深く贊同の意を表すると共に、絕對に全世界を凌駕する大日本帝國海陸空軍の精銳に信賴す、希くば中華民國少數の惡思想者を促し速かに圓滿解決し、東亞和平の大局を維持し、もつて世界人類の福祉を增進するの大目的を達成せんことを、しかして大日本帝國において東亞和平を維持するの苦衷はおよそわが民衆既に五年の認識あり、われ等は皇軍が近來益々緊切となれる日滿不可分の關係をもつて必ずや終始一貫わが國家を擁護することを信ずるとともに、友邦日本帝國と一心一德もつて皇軍の後盾となりて共存共榮の實を擧げんことを誓ふ、特に聲明す

人事往來

▲太田宗太郎氏（滿鐵）十八日來京ヤマトホテル
▲金子壽三氏（大每大連支局長）同
▲梅田千代松氏（會社員）同
▲鶴殿家勝氏（同）同
▲石田三郎氏（書記）同
▲森田丑太郎氏（會社員）同
▲加藤忠義氏（同）同
▲北田寬氏（商業）同中央ホテル
▲今枝柳太郎氏（同）同
▲朴重陽氏（官吏）同
▲松田稔氏（鑛業）同都ホテル
▲鹽見峰吉氏（奉寧鐵路公司事務）同
▲吉富胤雄氏（建築業）同

航空往來

▲井上光太郎氏（會社員）十八日チチハルから
▲坪野芳氏（同）同ハルビンから
▲内山重利氏（建築業）同
▲須永雅三氏（滿拓）同佳木斯から
▲廣澤政彥氏（會社員）同ハルビンへ
▲吉田元一氏（建築業）同チチハルへ
▲平井濤氏（同）同ハルビンへ
▲内海二朗氏（交通部航空科長）同奉天から
▲田村明雄氏（同科員）同

偶語

暴戾なる支那側は更に誠意なく極力交渉を遷延し兵を撤退せざるのみか▼梅津、何應欽協定を蹂躪して中央軍の部隊は平漢線經由北上を開始し▼その先發部隊は既に河北省に到着し後續部隊も續々省内に集結せる模樣である▼一方北方作戰空軍根據地と決定した洛陽飛行場は南方から飛來した飛行機で埋めつくされ▼晝夜兼行堅固なる防禦工作を急いでゐる▼こと茲に到れば時局は最早や最後的段階に到達せりと云ひ得べし▼我等日本帝國臣民は飽くまで大國民的襟度を持し迷夢に迷はされず各の進むべき途を進むこそ國民としての最大の務めであつて▼此の際愚にもつかぬ流言蜚語を飛ばすことは最も愼しむべきことである▼五日間に亘る防空準備演習は終つたその結果から見て著しき進歩の跡を示せることは▼各自が同演習に對する認識を深めた證左であつて欣快とするところ▼來る本演習には更に一般の緊張と自戒をしやうではないか

建國大學明春から南嶺校舍で開校

建設要綱日滿委員の手で決定

建國精神の眞髓を體得し皇道を基調とする學問の蘊奥を究め且つこれを實踐し道義世界建設の先覺的指導者にして滿洲建國の世界的意義を顯現する人材を日鮮滿蒙露人中より選拔、養成する建國大學の創設については東條、星野正副委員長、寛、作田、平泉、西宇田、稻葉、佐藤、辻、橘、齋藤、井上の日本側委員及び袁金鎧、羅振玉、于靜遠の滿洲國側委員の手により十五日より日滿軍人會館に於て鋭意審議中であつたが、十七日別項の如き大學建設要綱を決定しいよいよ明春より南嶺校舍において開校すべき一切の準備を進めることになつた

建國大學創設要綱左の如し

一、目的 建國精神の眞髓を體得し學問の蘊奥を究め身をもつてこれを實踐し道義世界建設の先覺的指導者たる人材を養成するを目的とす

二、要領 本大學は滿洲建國の世界史的意義(皇道宣布)を擴充顯現すべき人材養成のための獨創的大學なるをもつて一切の既成概念を超越し廣く且つ深くアジアの現情ならびに將來を達觀し建國精神に立脚しその高遠なる理念に基きその雄渾なる構想の下に確固たる基礎を樹立するを第一義とす、これがためその完成を五年後と豫定し爾後更にこれが内容の充實を圖り悠久なる理想に向ひ絶えず生成發展して止まざる大方針の下に創設を進行す

三、組織 前期、後期學生を教育陶冶す

大學院 後期卒業者又はその他の適任者を入學せしめ、專門事項の深刻なる研究をなさしむ

研究院 學校主要職員をもつて組織しその共同研究により建國原理を把握しこれを生成發展せしめ且つ職員の精神的團結を鞏化しその内容を充實せしめもつて學生教育指導の淵源たらしむ

四、修養年限 前期 三年 後期 三年(状況により將來更にこれを短縮す) 大學院、研究院(年限を設けず)

五、管轄 國務總理大臣において管理し、各方面特に協和會これを協力す

六、入學資格及選拔方法 前期 概ね日本の中學校四年修了程度以上若くは滿洲國高級中學校卒業程度以上の實力を有するものゝ内より試驗を經て選拔せられたるものを入學せしむ

後期 前期修了生中より銓衡せられたるもの、但し別に他の國立大學又は專門程度の日本留學を終へたるもの等に對し特別の銓衡試驗を行ひ入學せしむることあるものとす

大學院 後期を卒業したるもの(なるべく卒業後一二年の實務に服したるもの)又はこれと同等以上の實力を有するものにして總長に於て適當と認めたるものを入學せしむ

七、教科内容 1前期は高等普通教育を主とし特に建國精神の理論勤勞的實習、軍事訓練に力を須ひかつ日語又は滿語を必須課目とす、訓育については全員塾に收容し(民族共塾)嚴格明朗なる規律生活と自治訓練とを體得せしめ、心身の鍛錬と人格の陶冶に資す

2後期は國家の根幹として必要なる法政、經濟、倫理、哲學、歷史等を教科要目としさらに勤勞的實習、軍事訓練を行ふ、訓練については前期に準ず 前期、後期の教科内容の細部に關しては別に研究決定す

3大學院に於ては各自の專門事項につき深刻なる研究を行ふ

八、學生の採用數及學費 康徳五年度に於ては建國大學前期第一期學生概ね百五十名を採用す、康徳六年以降に於ては實績に鑑み別途考究決定す、必要なる學資は一切國家に於て負擔す

九、教育の特色 本大學の特色は知行合一を趣旨とし、實踐的人材を養成するを眼目とす、教授團は同志として有機的に團結し、建國精神に基く共同研究を實行す 教授と學生とは全人的に一體となり知育と德育とを絶縁せしむることなく、人格の力によりて人格を薫化す かくて本大學は理論と實踐とを統一し、信念を手腕に運用してもつて道義世界を建設するの先覺的指導者を養成す

一〇、創設の順序 第一期(現在より概ね一年) 本期間は大學の根本機構を確立し、緊急を要する事業に着手する時期とす

1、總長の下に中樞機關を設立す

2、教授候補者の編成團結訓練 東京事務所を中心とし、少壯有爲の人材を廣く求めてこれを精神的に結合し成べく速かに現地の實情を認識せしめ且基礎的研究ならびに訓練を開始す 右教授候補者は將來專ら訓育を擔當する人材をも含む(東京事務所は將來これを日本における此種研究所の母體たらしむ)

3、圖書館の開設

4、學生選拔工作 成べく速かに學生選拔工作を開始し第一回學生入學の時期(明年五月二日)を目標として諸準備を促進す

5、必要なる建物の建築に着手す

第二期(第一期に引續き約四年) 本期間は主として内容充實時期とす

1、研究院の開設 新京は研究院を開設し、研究院長を中心に職員の精神的團結を益々鞏固ならしめ日本における基礎訓練に引續き共同研究を行ふ、共同研究に方りては常に内外の諸思想を對象とし先づ皇道儒教、次いで佛教、回教等の代表的一流學者を迎へ、或は教授中の適任者を各地に派遣し研鑽修練を行ひ、各々その個性並に特質に應じ教授、訓育を分擔し互に緊密なる關係を保持しつゝ學生教育を行ふ然も絶えず研究院を母胎として職員自らを向上發展する如くす

2、大學機構細目 大學の機構細目は本院創設要綱に基き總長を中心とし研究主體となりて考案するものとす

3、日本始め諸外國との連絡研究 日本における研究所とは常に密接に連絡す、その他アジア各地および諸外國には所要に應じ教授等を派遣し實情を認識せしむると共に必要の研究連絡を爲さしむ

第三期 第二期建設を擴充完成す

前期第一期 學生選拔要領

建國大學前期第一期學生選拔要領左の如し

一、選拔準備期間 昭和十二年 康徳四年 七月中旬より十月末日まで

二、選拔人員 各民族を通じ概ね百五十名

三、受驗資格 左記資格の一に該當し志操堅固、成績優秀、身體特に強健にして將來大陸經營に獻身せんとする滿十八歳以下の者とするも特に優秀なる者に就ては滿廿歳まで支障なし(昭和十二年十二月末日現在)=滿蒙露人に關しては康徳四年十二月末日現在において滿十八歳以下の者とするも特に優秀なる者については滿二十一歳まで支障なし(但無妻の者)

1、日人に關しては昭和十三年春日本の中等學校(師範學校、中學校、實業學校、高等普通學校)の四年修了見込者、卒業見込者及び卒業者並に右と同程度以上の實力ありと國家に於て認定せられたるもの

2滿蒙露人に關しては康徳五年三月までに滿洲の高級中等學校或は日本の中等學校四年修了見込者及び卒業見込者並に省長或ひは特別市長又は協和會省本部長、首都本部長に於てこれと同等以上の實力ありと認定したるもの

3、協和會の特別推薦によるもの

四、採用手續 學生の採用に關しては日本に於ては陸軍省を通じ各道府縣、朝鮮、臺灣兩總督府および樺太廳長官および協和會の推薦せる候補者を滿洲國および關東州においては當該省長(關東州においては關東局總長)或は特別市長、協和會または特に指定する學校において推薦せる候補者をさらに銓衡試驗を施し採用者を決定す

五、試驗方法 1、第一次試驗(筆記試驗及び身體檢査)

イ、日人の部 國語、漢文、作文、地理、歷史、數學、外國語(滿、英、佛、露、獨の内一を選擇せしむ)

ロ、滿蒙露人の部 滿、蒙、露語、地理、歷史、數學、日本語

註―右筆記試驗に關しては日人は中學校第四學年第二學期修了程度において、滿蒙露人は高級中學校卒業程度においてこれを行ひ課目の範圍は志願者心得に明示す

2、第二次試驗 人物考査、身體檢査

六、試驗時期 第一次試驗 自昭和十二年十二月廿五日、至同廿八日の四日間(日人)

第二次試驗 滿洲在住志願者 昭和十三年(康徳五年)二月一日より同五日までの五日間 日本在住志願者 昭和十三年(康徳五年)二月十二日より同十七日までの六日間

七、試驗場 日本在住志願者 第一次試驗―日本各地試驗場、第二次試驗場―新京 滿洲國在住志願者 第一次試驗―滿洲各地試驗場、第二次試驗場―新京

▲備考 一、滿、蒙、露人の第一次試驗期日は十二月上旬とし細部は別に研究す 二、試驗實施期日に關しては必要に應じ適宜變更することあるものとす

建國大學創設に關し 東條參謀長談

十七日午後三時半建國大學創設準備委員會終了後委員長關東軍東條參謀長は左の如き談話を試みた

滿洲國は模倣國家ではなく皇道を基調とする獨創的經營國家である、大和民族を道義的核心とし民族協和の理想を實現すべき新原理に立脚する創造國家であつて今や正に八紘一宇の大理想を顯現すべき第一段階にある、しかしてわが滿洲國の經營は建國精神の眞髓を體得し身をもつてこれを實踐する眞の人材に俟たねばならない、建國大學創設の目的は斯かる人材を養成するにあり、從つて本大學における教育を一貫する思想は建國精神すなはち皇道精神を基調とすべく、その内容は建國精神を哲學的に、歷史的に科學的に體得せしめ且つ獨創的國家の經營原理を把握せしむべくその方法は各民族を共學共塾の間に協和團結せしめ、特に人格の鍛錬陶冶に意を須ひもつて滿洲國建國の理想を實現し、道義世界建設の先覺的指導者たり得べき人材を養成しなければならない、內外の時局極めて重大なる折柄、日滿權威者が連日にわたり愼重審議を重ねこゝにその大綱を決定せられたことは洵に慶賀に堪へない、今後は主として本案の實現に努力されるべきで滿洲國政府側においても國家百年の大計を確立されることゝ信じ、且つ深くこれを期待するものである

張總理委員招宴

去る十五日より三日間に亘り日滿軍人會館に於て開催された滿洲建國大學創立準備委員會は十七日を以て終了し、建設要綱案の決定を見たので、張國務總理大臣は東條、星野正副兩委員長始め日滿兩委員の勞を犒ふため同夜午後六時よりヤマトホテルに招待盛宴を催したが、陪賓として滿洲國各部大臣並に政府首腦廿餘名も列席盛會裡に午後八時過ぎ閉會した

滿獨親善慶祝大會 準備全く成る

二十日新京を皮切りに

滿獨親善を祝福する一大狼烟―全滿慶祝大會は廿日にまづ新京で火蓋を切り、それをきつかけに奉天(廿二日)大連(廿五日)哈爾濱(廿七日)の三個所から矢繼早に擧國的對獨意思を中外に表明するが主催者の協和會では大會の萬全を期すべく先般來滿洲國政府、關東軍、滿鐵、弘報協會および開催地四都市等と種々打合せを行つた結果、十八日をもつて準備萬端を整へ今や大會の當日を待つばかりとなつた、新京大會は既報の如く廿日午後六時より西公園の滿鐵グラウンドで開催、于靜遠協和會中央本部長の開會の辭日滿獨三國旗に對する敬禮ならびに三國々歌の吹奏があつて、張國務總理をはじめ各部大臣その他軍部、民間代表等が祝辭を行ふ、ついで滿洲國民の對獨意思を決議し、これに對して全滿各市駐在ドイツ領事が謝辭を述べ祝杯をあげた後三國の萬歲を三唱して散會する順序であるが、それより會場に於て大橋外務局長官駐滿ドイツ通商代表クノール博士の講演及びナチスの新鋭海軍を撮影した「ドイツ海軍」外「アジアの海軍」「農業滿洲」「打倒共產」等の映畫を公開する、尙新京放送局では、大會の盛況を日本並に全滿に放送する筈である

北滿唯一の靈泉鄕 九台溫泉開業

十七日から一般遊山客誘致

湧出する靈泉と明眉な風光を兼備した天惠の極樂境九台溫泉はその後九台溫泉公司の手で休養、慰安所の設備を急ぎつゝあつたが愈よ大衆ホテル食堂、大衆浴場、浴場付納涼台、運動場、子供の遊戲場等が出來上つたので十七日から一般湯治遊山客に對し營業を開始した

同溫泉は「炭酸含有土類含有炭酸鐵泉」で浴用飲用共に適し胃腸を始め諸種の病氣、殊に皮膚病、婦人病にはは卓効ありまた身體のあたゝまることは妙なりとは哈爾濱衞生技術廠の淸水技師も證明し實際湯治した人のひとしく賞讚するところである

新京から京圖線で一時間下九台驛の北にある同溫泉公司敷地十七萬坪の內には山川の起伏面白く森あり、原あり、四季の眺望もよろしく北部には耕作された十萬坪余の畑あり麥、豆、西瓜、まくわうり等が栽培され、敷地內を縱橫に縫ふ小路は輕いハイクに良く家族連れの日歸り遊山にまた街の雜音に疲れた人の靜養に絶好のユートピアである

なほ同溫泉公司では十七日開場を祝し關係者百余名を招いて盛大に披露する筈である

國境視察の二代議士南下

北滿國境地帶を視察旅行中であつた衆議院議員生田和平、同佐藤洋之助兩氏は十八日午前十時發はとで奉天に向ひ出發したが驛頭で語る

十日餘りに亘つて佳木斯、牡丹江、東寧を始め、大黑河、滿洲里一帶を視察して來たが丁度乾岔子國境事件後で最も國境の緊張してゐる實情を視、如何に皇軍が活動を續けてゐるか、在留邦人がどれ〳〵位眞劍味を帶びて各自それ〴〵の職務を忠實に行つてゐるかを實際に視て始めて眞の滿洲國の姿を觀ることが出來たのを喜んでゐる、これから奉天を經て北支まで是が非でも足を伸ばし、目下更に緊張してゐる北支を視て大連に引返し特別議會の前日までには東京にかへるつもりでゐる東京にかへつてからはこれ等の見聞を廣く話し、一般國民の滿洲認識の一助に資したい、なほ他の代議士連にも都合つき次第皆が一度は滿洲に來て是非視るやうに薦めたいと思つてゐる

橋本參議 忠靈塔參拜

十七日新任した滿洲國參議橋本虎之助中將は十八日午前九時新京忠靈塔を正式參拜した

あつたが時節柄遠慮して目下建築中の第二ホテルの竣功を待つて九月初旬に行ふことに延期したが一般來湯遊山客に對する設備は充分にして來遊を待つて居る

竹內中佐放送

新京統監部では今回の防空演習終了に際し新京放送局から十八日午後十時竹內中佐の準備防空演習に關する所感を放送する

滿洲防空協會 防毒面取扱

滿洲防空協會では重大時局に即應せしめるため防空施設を可及的速かに整備する必要から『各戶一個の防毒面』のスローガンを揭げ各戶に均霑するため十二年式直結式防毒面一個六圓、隔離式一個九圓五十錢子供用一個五圓で十八日午前九時から小口取扱を開始することになつた、希望者は興安大路滿洲防空協會本部で求められたいと

日本人漁夫 五十日振りで救出さる

【ホノルル十六日發國通】日本人漁船日本丸は去る五月二十五日ホノルルを出帆出漁中行方不明となり、すでに乘組日本人の運命も絶望とされてホノルルでは葬儀まで濟まされたが、十五日午後二時ミッドウエー島西方五百浬の洋上を航行中の英國貨物船マレイナ・プリンス號が附近漂流中の同船を發見、乘組員某一名を無事救出したと入電があつた、五十日振りで奇蹟的に生還を遂げた二十世紀の浦島太郎は近日中にホノルルに歸る筈である

單獨干涉は冒險

米紙の論調

【ニューヨーク十六日發國通】ボストン・トランスクリプト紙は十五日の紙上で「米國の過去の經驗」と題し左の通り述べてゐる

米國は今や歐洲から支那に關する誘ひのめくばせも受けたが、米國としては冷靜に五年前のスチムソン政策を思ひ起すべきである、當時外交政策において米國は不戰條約をもつて武裝した勇敢なる平和のパイオニアであつたが、歐洲諸國はこれに追隨せず、リットン委員會の報告すらスチムソンの微越さは具有してゐなかつた、いま日本が支那の二の地方においてとりつゝある行動に對しては口先で何と非難したところで今更どうにもならぬ、腰のすはつた追隨國なしに米國獨りが危險をおかす必要がどこにあらうか

支那側 逆宣傳に躍起

【上海十八日發國通】事件發生以來すでに十日、日支關係は依然暗雲低迷狀態であるが最高指揮權を握る蔣介石氏はなほ廬山にあつて和戰兩樣の指令をなしつゝあるが、軍事的準備は十七日も更に一段と進捗し、又外交工作はロンドン、パリ、ニューヨーク中國大使の一齊活動となり掉尾の逆宣傳を頼みに支那側の立場を良好ならしめ、もつて列國干涉誘致の素地をつくらしめ、又國內では日本軍の派遣を回避するため各地方長官に命じて治安維持策を勵行せしめつゝあり、ために北支以外の各地は比較的平穩を保ちつゝも無氣味極まる暗底流があり、居留民の不安は日一日と增大しつゝある

滿鐵內藤主任 母堂告別式

去る三日急逝した滿鐵新京支社資料係主任內藤一男氏の母堂言刀自の告別式は二十日午後三時から曙町經王寺で執行される

栗原重康氏轉居

前橫濱正金銀行新京支店支配人栗原重康氏は東京市澁谷區松濤町四へ移轉した

体育大會 廿日に延期

第六回滿洲國體育大會並に東洋大會第一豫選會は十八日擧行する筈のところ昨日の降雨で競技場のコンディション惡く競技不能の爲め中止となり二十日午後正一時から行ふことに變更された、出場者は二十日には午後正一時迄に必ず遲刻せぬやう參集され度いと

日大對全大 連水上戰

日大對全大連の水泳對抗競技は、十七日午後四時より大連運動場プールにて擧行されたが成績左の如し

△五十米自由型 1遊佐(日) 2正木(日) 3關(大)(二七秒一)

△四百米自由型 1佐々木(日) 2木村(日) 3小川(大)(五分一八秒六)

△二百米平泳 1葉室(日) 2史(滿人) 3關(滿人)(二分五一秒二)(大)(大)

△百米自由型 1遊佐(日) 2正木(日) 3市川(大)(一分二秒九)

△百米背泳 1谷口(日) 2桑野(日) 3和田(大)(一分一三秒六)

△二百米自由型 1佐々木(日) 2木村(日) 3小川(大)(二分二三秒六)

△二百米リレー 1日大―佐々木、正木、杉本、遊佐(一分五〇秒八) 3全大連(一分五六秒九)

△得點 日六、四二 全大、二一

立大勝つ 對滿倶二回戰

滿倶對立大野球第二回戰は十七日午後四時半より滿倶先攻にて開始され結局四A對二で立大雪辱す

立大	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4A
滿倶	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2

けふの天氣 南寄りの風 晴後曇り
日の出 前 五時一二分
日の入 後 八時一六分
月の出 後 四時五七分
月の入 前 一時一九分
きのふ氣溫 最高 二九度三 最低 一八度七

新京結核療養所 近く着工の運び

建設地は孟家屯驛の南方 理想設備施し明年竣工

滿洲から結核魔を驅逐せよ、のスローガンを掲げて結核撲滅に大車輪の活躍をつづけてゐる滿洲結核豫防協會の運動に更に拍車をかける滿鐵創立卅周年記念事業の一つ結核療養所新設問題は既に當局の許可を得たので各建設地に於ては直ちに工事に著手する運びとなつてゐる、新京療養所の位置は交通至便で然も風光明媚な孟家屯驛と無電台の中間約二萬坪で建設局の交渉も順調に進捗し地域內の滿洲人部落買收交渉も圓滿に解決したので近く工事に着手することになつた、工事設計によるベツド數は百床であるが此の數字は國都の人口に比例して適當數とは云へないので近き將來に於て充分擴大する準備が含められてゐる、竣功は明年に持ち越されるであらうが今まで全滿を通じて南滿保養院一ケ所しか持たなかつた滿洲に五ケ所の療養所が創設されることは患者にとつて一大福音であり、その出現に多大の期待がかけられてゐる

事故一掃を期し 交通標識機設置

首都警察の手で近く製作完了

國都の著しい發展に伴ふ交通量の增加は最近頓に交通事故を頻發し毎日少くも一、二件を數へる現狀に鑑み首都警察廳では治外法權撤廢を目睫に控へて眞に近代都市として相應しい交通整理標識機設置の研究を進めてゐたがこの程大體の原案を決定したので近くこれが製作完了次第交通量の頻繁な街々に設置されることゝなる右原案によりて內地大都市の例にならつて停止標識横斷標識機等はすべて三角形または四角形と言つた形を以つて分別する上にそれぞれ赤靑黄の三原色をもつて着色し通行人または諸車をして一見して交通の動作を分明せしめやうと言ふもので實現の曉は現在の交通事故は大いに緩和されるものと期待されてゐる

柔道三段 文なしとなつて泣込む

本籍北海道利尻郡沓形村笠島清之助は柔道と拳鬪對抗試合興行の柔道選手として來滿新京に於ても本月上旬記念公會堂で試合をした三段の猛者であるが、興行の途次どうしたことかハルビンで一行から捨てられあまつさへ責任者但馬幸一に旅費を拐帶逃走されて無一文となり新京まで辿りついて北滿旅館に止宿してゐたが力の猛者も無一文には勝てず十九日午後領警署を訪れ警察の力によつて大連大黒町に止宿してゐる責任者但馬に送金せしめるやう配慮を賴むと願ひ出でた、早速電報をうつて照會してやつたところ但馬外三名は內地に歸る乘船切付を購入、後一文もないから送金出來ないとの返電に接し全くとりつく島もなく徒らに三段の腕を撫し旅館の一室で途方に暮れてゐる

寄託金拐帶 張總理夫人への返濟金を

新京大馬路三合盛穀物商執事馬鳳林（五十三）はかねて商賣の資本に張國務總理夫人から二千圓の融通を受けその內千四百圓を支拂ひ、殘金六百圓を完濟のため十六日午前夫人を訪れたが、夫人から所用のため明日城內長通路三號の實弟に手交するやう言渡されたので十七日午後三時三十分日頃信用のおける東三馬路德三宏客棧經理呂耀臣（五十）にその傳達方を依頼したところ呂はそのままこれを着服行方を晦まして了つた、屆出により首都警察廳では指名犯人として嚴探中

新京混聲合唱團では十八日陸軍病院を訪ふて最初の慰問演奏を行ひ白衣の勇士たちを慰めた【寫眞は陸軍病院の慰問演奏】

露人三人組盜み

十七日午前十一時半豐樂路三浦洋行に三人連れの露西亞人が入り來てフマキラ一本を購入五圓札を出したので一店員が釣錢を渡すべく奥に入つた隙に乘じ店の金庫內にあつた十圓札二枚二十圓を竊取し釣錢も素知らぬ顔に受取つて逃走したが、後で竊取された事を發見して領警署に屆け出たので直ちに手配犯人捜査中である

高飛び仕度中

特別市五馬路料亭三杉樓藝妓賓こと諸山タケノ（二一）はかねて馴染みを重ねてゐた情夫住所不定無職靑山祉（二九）と前借千二百圓を踏み倒して十七日午後八時頃いづれかに逃走したが領警署の敏速な手配捜査によつて十八日午前十時頃寛城子某食堂に情夫とともに潜伏高飛びの準備中を發見された、目下領警署に於て事情取調べ中である

拾ひもの

興安大路四三五、ガス會社々員吉村壽雄氏は十七日午後四時頃義和路義和寮前でクローム腕時計十型赤革バンド付一個を收得し義和路派出所に屆出たでた

沸上る銃後の支援

係官も整理に忙殺〔新京署依託のもの〕

北支事變勃發とともに各方面から依託される國防獻金で新京署警務係ではこれが整理、手續きに大童となつてゐる

▲大分縣早見郡東山田村生れ松本アキノさん（四〇）は賣藥行商の旅の空で北支風雲を耳にし十七日午後新京署を訪れて淨財二圓を國防獻金に寄附申出でた

▲特別市豐樂路明友ビル二十八號八島小學校第四學年德永ヒサベさん弟博明君の二人はお母さんから貰つたお小遣錢の蓄へ金十五圓を國防費として獻金した

▲向陽ホテル女中さん一同は淨財を出合せて五十圓を獻金した

▲祝町四丁目十番地中野孝子さん（一七）は十七日朝日通り派出所を訪れて金四圓を國防獻金に申出でた

▲大經路西五馬路販賣市場內賓洋行店員一同から五圓を獻金した

▲國都グリル經營者野田市太郎氏は金百圓、同グリル、ホテル從業員一同で金二百圓、同ホテル主人千葉千代さんは金二百圓をいづれも十七日本署に國防獻金として申出でた

南嶺少年少女團 お小遣ひを獻金

南嶺順天金輝二班有志寶田護君外三十九名の少年少女團は十八日午後南嶺派出所に出頭して『北支の兵隊さんに贈つて下さい』とお父さんやお母さんから戴いたお小遣を出し合はせて合計十一圓八十錢を獻金した

馬を强奪

十八日午前二時三十分ごろ市外北新甲第四區農業孟兆顔（五十）方表門から賊侵入、家人を脅迫して裏手廳舍に案內させ馬一頭（百四十圓）を强奪の上馬に一鞭くれて悠々逃走した、首都警察廳で犯人捜査中

筧博士講演會

協和會首都本部主催、筧克彥博士の講演會は十八日午後四時から協和會館講室で開催、同博士は三時間に亘り熱辯を振つて皇道の本義を說き更に歐洲思想史を批判し二百餘の聽衆に多大の感銘を與へた、なほ十九日午後四時からは同講室で稻村中佐　堀內弘報處長を講師とする時局講演會が開かれる

日露戰役勇士 追善供要

長勇會主催第四回日露戰役戰友及び長勇會員死亡者追善供要は十八日午後五時半から東本願寺で盛大に營まれた、長崎副會長以下各會員五十餘名故熊谷定興氏長男善知氏以下十六名の遺族一同着席、長崎副會長の開會の辭、讀經、宮木嘉久二氏の弔辭、燒香、副會長の挨拶、續いて熊谷氏が遺族を代表して謝辭を述べ、遺族の接待、日露戰役の懷古談を交し、同七時盛會裡に終了した

義和路防護團長 防空施設不備の各戸に注意

特別地區防護團義和路分團に於ては新京市防空準備演習期間中燈火管制設備の施設狀況を戸別的に調査してゐたがその結果、以外にも左の如き非常時を認識しない非國民が尙存在することが發見されたので同分團長靑木警務主任から各戸に注意を促して來るべき燈火管制の完璧を期することゝなつた

▲全然設備のないもの九戸

▲設備不完全のもの、十六戸

▲設備を有するも燈火管制を怠つたもの五戸

"流言蜚語の取締りに萬全を期す覺悟"

武部關東局總長昨日歸京談

豫て東上中の武部關東局總長は治外法權撤廢、關東局明年度豫算その他關東局令の公布等に就き中央政府との間に重要打合せ中のところ北支事變の重大化とゝもに豫定を繰上げ急遽十八日午後三時列車で歸京直ちに軍司令部に赴いたが、往訪の記者に左の如き事變に對する關東局の態度を表明したのは注目すべきである

時局の切迫により豫定を早めて歸京したが協議案件の打合せは完全に濟ました東京では首相を除く各閣僚と會談したが今回の事變に對し政府は强硬なる態度を以て臨む樣だ、關東局としては事態の緊迫に伴ひ管下全機關を總動員し流言蜚語の取締、スパイの檢擧、惡疫防備に萬全を期する覺悟である、歸京の途奉天を初め管下各警察署にも此の旨命じて置いた、內地に於ける事變に對する國民の熱援振りは實に涙ぐましいものがある、治外法權撤廢に對する日本政府の準備も順調に進捗し豫定通り實施されるものと信ずる、近く公布される關東局令に就ても種々法制局その他關係各機關と打合せた結果、何れも特別議會前後に公布されることとなつた、關東州漁業令、重要產業統制令、關東州農業令、同業組合令など十指に及ぶが同業組合令は既に法制局の審議を終つたので最も早く公布されるであらう、この組合令は中小工業者共同の利益を增進する目的のもとに日本產業組合法、重要物產組合令、商業組合工業組合を包含するものである【寫眞は武部總長】

五十嵐氏歸京

北滿國境地帶を視察のため旅行中であつた在鄕軍人會新京聯合分會長五十嵐房吉氏は十八日午後四時二十分新京飛行場着旅客機で歸京した

對日大水上軍試合新京代表 けふ豫選

日大來征軍對全新京の交驩試合は來る二十日白菊町プールにて擧行せられるが、その新京出場選手豫選會は十八日開催せられるはずのところプール水不足にて十九日午後四時に改めて開催せられることゝなつた、なほ十九日も水不足の場合は同日中學校プールにて行はれる、出場者は時間までに白菊町プールに集合せられたいと

全新京硬式庭球 試合戰績

滿洲網球協會主催全新京硬式庭球選手權試合は十八日午後一時半から中銀コートに於て盛大に開催せられた、當日終了の試合成績は次の通りである

▲シングルス第一回戰

馬場（6―10）今村
山路（棄權）李
小佐々（棄權）岡田
吳（不戰一勝）
石橋（6―2 6―0）松岡
山崎（棄權）尾根山
則生（6―0 6―0）田口

▲ダブルス第一回戰

照井・小佐々（6―4 6―4）松岡・隱岐
吳・馬場（6―1 6―3）石橋・増田
岡田・今村（不戰一勝）
則生・山崎（不戰一勝）

準決勝

照井・小佐々（6―0 6―2）岡田・今村
吳・馬場（6―1 6―3）則生・山崎

シングルス殘り、ダブルス決勝は十九、二十兩日に亘つて決せられるはず

5―3 慶應軍振はず 對新京倶戰に一敗

來征慶應の新京に於ける第一戰、對新京倶樂部戰は十八日午後、四時半より西公園球場に於て孫（球）大辻、伊藤（壘）三氏審判のもとに新京倶樂部の先攻で開始された、この日絶好の野球日和に新人團とは云へ三田の妙技を見學せんと押しかけたファンでスタンドは埋まる、新京軍第一回目に高橋の適時中越二壘打に一擧二點を入れ意氣大いに擧り三回に一點五回に二點を入れたのに反し慶應軍調子を落してかゝり三浦の緩球にすつかり打撃を封じられくさること甚だしく六回に岩本、成田の兩三壘强襲安打で二點を奪ひ返し後半成田巧なアウトドカーヴでよく新京軍の打撃を牽制したが、七回目から交代した新京軍の高橋投手の變り球にまた攻撃振はず投げ氣味のところさへ見え九回に一點を挽回したのみで結局五對三で慶應軍敗北す

▽スコアー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
新	2	0	1	0	2	0	0	0	0	5
慶	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3

△トータル

新京	打數	得點	安打	三振	回死	盜壘	過失
7 內山	3	2	1	2	1	0	1
9 水島	4	2	1	2	0	0	0
5 釘貫	4	0	1	3	0	0	0
8 榮永	4	0	0	3	0	0	0
13 高橋	4	0	1	3	0	0	1
6 樽美	4	0	0	0	0	0	1
31 三浦	4	0	0	0	0	0	0
2 石田	3	0	0	1	0	0	0
4 鈴木	3	1	1	0	0	0	0
計	33	5	5	14	1	0	4

慶應	打數	得點	安打	三振	回死	盜壘	過失
8 河瀨	2	0	0	0	1	0	0
代 根津	2	0	0	0	0	0	0
2 大館	2	0	0	0	1	0	0
代 宮崎	1	0	0	1	0	0	0
2 松森	2	0	0	0	0	0	0
2 井上	2	0	0	0	0	0	0
代 高木	1	0	0	0	0	0	0
9 楠本	3	0	1	0	2	0	0
7 寛	3	0	1	0	0	0	0
代 水野	1	0	0	0	0	0	0
3 岩本	4	1	1	0	0	1	0
5 平野	2	0	0	0	0	0	1
5 宇野	2	0	0	0	0	0	0
1 中田	2	0	1	0	0	0	0
1 成田	2	0	1	0	0	0	0
4 大槻	3	0	1	0	0	0	0
代 高塚	1	1	1	0	0	0	0
計	36	2	7	1	4	1	2

二壘打―高橋、釘貫、內山

第一回▲新―內山四球、水島三飼失、釘貫、榮永三振高橋の中越二壘打に內山水島生還、樽美遊飼、▲慶―河瀨四球に出で二盜を試み刺さる、大館中飛、松森遊飛（新2―慶0）

第二回▲新―三浦三飼、石田二飼、鈴木二飛▲慶―楠本三遊間安打、寛左前安打、岩本遊飛、平野の遊飼に寛二壘に封殺中田二飛（新0―慶0）

第三回▲新―內山三振、水島右前安打、釘貫の中越二壘打に水島生還榮永二飼釘貫三進、高橋三振▲慶大槻バンドに出で河瀨の遊飼で二壘に封殺、大館死球、松森左邪飛、楠本四球で滿壘、寛の三飼で大館三壘は封殺（新1―慶0）

第四回▲新―樽美一飼、三浦三飛、石田右飛、▲慶―岩本平野共に遊飼、中田一二間安打、大槻二飼（新0―慶0）

第五回▲新―鈴木遊間安打、內山の左二壘打に鈴木生還、內山三進（この時慶應投手成田に捕手井上、三壘宇野二交代）水島打者の時內山本壘をねらひ捕手のボークで生還、水島、釘貫、榮永共に三振、▲慶―河瀨遊飛、大館の代打宮崎三振井上中飛（新2―慶0）

第六回▲新―高橋三振、樽美一飼、三浦、二飼▲慶―楠本三飼一失に生き寛三飼、岩本の三壘强襲安打に楠本生還宇野遊飼、成田の三壘强襲安打に岩本生還大槻一飼（新0―慶2）

第七回▲新―石田三振、鈴木一飛內山三振、▲慶―この時投手高橋に一壘三浦に交代、河瀨―代打根津二飛、大館二飼、井上左飛（新0―慶0）

第八回▲新―水島、釘貫、榮永共に三振、慶―楠本四球寛の代打水野三邪飛、岩本遊飼に楠本二壘に封殺、宇野左飛（新0―慶0）

第九回▲新―高橋三振、橘美右飛、三浦二飛、▲慶成田投飼、大槻の代打高塚二遊間安打、根津遊飛、大館遊飼遊逸に生き高塚三進左失に生還大館二進、井上代打高木遊飼遊逸に生き大館三進したが楠本左飛で閉戰（六時十分）

軟式野球準決勝戰 大德、福昌勝つ

決勝戰はけふ三笠小學校で

本社後援の新京軟式實業野球大會準決勝戰は十八日午後一時より三笠小學校に於て擧行され左のスコアーで大德公司と福昌公司が勝つた、なほ決勝戰は十九日午後五時より三笠小學校に於て擧行され終つて優勝旗及會頭楯の授與式並國旗の降下式を行ひ本年度大會の幕を閉ぢる

大德公司 6―4 國際運輸

福昌公司 4―0 双發洋行

馬車夫持逃げ

永昌胡同三一四、明木正氏は十七日午後五時半家屋移轉のため茶褐色テーブル一台時價百二十圓を乘用馬車で運搬の途中馬車夫に持ち逃げされ領警署に屆け出でた

蒲田治安部次長の來京で大正九年組が岸、神吉、皆川、筒井氏と俄然五指を屈する優勢となり近く一席設けるとのこと▲これまで「左り利き」の横綱は皆川關であつたが、長らく警察畑で鍛へた蒲田次長との取組は果して何れに軍配が上るか▲禿頭か？白髮か？片垂を呑むのは蓋し三人の行司のみではなからう

ラヂオ　けふの番組
（M・T・C・Y　新京放送局）十九日（月曜日）

朝

六、三〇　ラヂオ體操、入港船のお知らせ（大連）
六、五〇　初等滿洲語講座（奉天）
七、一五　朝の音樂　講師　秩父固太郎
引續き　防空ニュース
七、四五　建國體操（大連）
八、〇〇　氣象通報（東京）
九、三〇　經濟市況（東京）
一〇、〇〇　家庭講座（大連）
一〇、二〇　料理獻立（奉天）
一〇、三〇　家庭メモ
一〇、四〇　經濟市況（大連、新京）

晝

一一、三五　經濟市況（大連）
一一、四〇　經濟市況（東京）
一一、五九　時報（東京）
〇、〇五　晝の演藝（レコード、ニュース）
〇、四〇　ニュース（東京）
引續き　防空ニュース、ニュース
一、〇〇　經濟市況（大連、新京）
三、〇〇　經濟市況（大連）
三、四〇　經濟市況（東京）
四、〇〇　ニュース（東京）
引續き　防空ニュース、ニュース
四、三〇　經濟市況（大連）
五、二〇　ニュース（鮮語）
。流行歌（鮮語）國境の町　外　郷一笑　伴奏　SKオーケストラ

夜

六、〇〇　講演　最近の國際情勢と日滿獨關係　國務院弘報處長　堀内一雄
六、三〇　子供の時間（東京）
一、童謠と唱歌　童謠舞唱奈良の大佛さん　外　東京市戸塚第三尋常小學校兒童
二、唱歌海（尋常小學唱歌）外　東京市大森第五尋常小學校兒童
六、五〇　コドモの新聞（東京）　關屋五十二
七、〇〇　ニュース（東京）
ニュース、告知事項　番組豫告（新京）
七、三〇　防空教育講座（五、家庭防火）　關東軍參謀部附　歩兵大尉　糀卓次
八、〇〇　謠曲　鉢木（東京）
シテ（佐野源左衞門常世）　梅若六郎
シテツレ（源左衞門妻）　梅若安弘
ワキ（最明寺時頼）　梅若武久
ワキツレ（最明寺從者）　井上基太郎
地謠　梅若六郎
同　梅若武久
同　梅若安弘
同　井上基太郎
笛　谷口甚藏
小鼓　田中一次
大鼓　佐伯一實
八、三〇　民謠組曲（大阪）　祇園會　山内隆作詞　内田元作曲　獨唱　渡邊はま子　同　阿部幸次　合唱　大阪放送合唱團　伴奏　大阪ラヂオオーケストラ　指揮　内田元
八、五〇　浪花節（濱松）―靜岡縣見付町磐田座より中繼―　次郎長と森の石松旅日記　玉川勝太郎
九、三〇　時報、ニュース（東京）
ニュース、告知事項　氣象通報、番組豫告（新京）
一〇、〇〇　防空ニュース
一〇、〇五　長唄（大連）　汐汲　大連長唄東扇會社中
一〇、三〇　北滿の時間（哈爾濱）

（謠曲）鉢木　梅若六郎

後八時（東京）

「いやとても此の身は埋木の、花咲く世に逢はんこと今此の身にてはあひがたし「たゞ徒なる鉢の木を御身のために焚くならば「これぞ眞に離行の法の薪と思し召せ「しかも此程雪降りて「仙人に仕へし雪山の薪「かくこそあらめ「われも身を「捨人の爲めの鉢の木伐るとてもよしや惜しからじと雪うち拂ひて見れば面白やいかにせんまづ多木より咲きそむる窓の梅の北面は雪封じて寒きにも異木より先づ先立てば梅を伐りや初むべき見じといふ人こそ憂けれ山里の折りかけ垣の梅をだに情なしと惜みしに今さら薪になすべしと攀て思ひきや櫻を見れば春梅に花少し遲ければ此の木や佗ぶると心をつくし育てしに今はわれのみ佗びて住む家櫻伐りくべて緋櫻になすぞかなしき「さて松はさしもげに「枝を矯めおきしそのかひ今は嵐吹く松はもとより國にて薪となるも理や伐りくべて今ぞ御垣守衞士の焚く火はお爲なりよく寄りあたりたまへや「近頃よき火にあたり寒さを忘れて候「御出でにより我等も火にあり候「いかに申候主の御苗字をば何と申候ぞ承りたく候「いや某は苗字もなき者にて候「何と仰せ候とも常人とは見え給はず候自然の時の苦しう候べき御苗字を承り候べし「此上は何をかつゝみ候べきこれこそ佐野の源左衞門尉常世がなれる果にて候「それは何とてかやうのさんざんの體にはなりたまひて候ぞ「其事にて候一族どもに横領せられてかやうの身となりて候「のうそれは何とて鎌倉へ御上り候ひてその御沙汰は候はぬぞ「運のつくる所は最明寺殿さへ修行に御出で候上は候かやうに落ぶれては候へど御覽候へこれに武具一領長刀一枝又あれに馬をも一匹つないで持ちて候これは只今にてもあれ鎌倉に御大事あらば千切れたりともこの具足取つてなげかけ錆びたりとも長刀を持ちやせたりともあの馬にのり一番に馳せ參じ著到につきさて合戰始まらば「敵大勢ありとても敵大勢ありとも一番に割つて入り思ふ敵と寄合ひ打合ひて死なん此の身のこのまゝならば徒に飢に疲れて死なん命なんぼう無念の事ぞうぞ「よしや身のかくては果てじ唯頼め、われ世の中にあらんほど、又こそ參り候はめ暇申して出づるなり「名殘惜しの御事や、はじめはつゝむ我が宿の、さも見苦しく候へど暫しは留り給へや「とまる名殘のまゝならば、さて幾度か雪の日の、空さへ寒き此の暮に「いづくに宿を狩衣「けふばかり留り給へや「名殘は宿にとまれども暇申して「御出でか「さらばよ常世「又お入り「自然鎌倉に御上りあらばお訪ねあれ、希有かる法師なりかひがひしくはなけれども、披露の緣になり申さん御沙汰捨てさせ給ふなと、言ひすてゝ出で船のともに名殘や惜むらん、共になごりやおしむらん「いかにあれなる旅人、鎌倉へ勢の上るといふは眞か、なに夥しく上るさぞあるらん、東八箇國の大名小名　思ひ思ひの鎌倉入り、さぞ見事にて候らん、白金物打つたる糸毛の具足に金銀を展べたる太刀刀、飼ひに飼うたる馬に乘り、乘替中間きらびやかに、うち連れ〱上る中に、常世が常にかはりたる馬武具や打物の、物そのものにあらざる氣色、さぞ笑ふらんさりらがら、所存は誰にも劣るまじと、心ばかりは勇めども、勇みかねたる痩馬の、あら道遲や「いそげども急げども、よわきに弱き、柳の糸の「よれによれたる痩馬なれば「打てどもあふれども先へは進まぬ足弱車の、乘力なはれば追ひかけたり「いかに誰かある「御前に候「國々の軍勢どもは皆々來りてあるか「さん候悉く參りて候「その諸軍勢の中に、いかにも千切れたる具足を着、痩せたる長刀を持ち、痩せたる馬を自身控へたる武者一騎あるべし急いで此方へ來れと申候へ」畏まつて候、いかに誰かある「御前に候「君よりの御諚には諸軍勢の中に、千切れたる具足を着、錆びたる長刀を持ち痩せたる馬を自身控へたる武者あるべし、急いで尋ねて御前へ參れとの御事にて候」畏まつて候「もし咎むる者あらば、二階堂が承りなる由申候へ「心得申して候、しかじか、いかに申候「何事にて候ぞ「急いで御前へ御參り候へ「なかなかの事一あら思ひよらずや、定めて人違へにて候べし「いやいや其方のことにて候、しかじか、急いで御參り候へ「何とたとへば諸軍勢の中に、いかにも見苦しき武者に參れと候や「さん候「さては某がことにて候べし、畏まつると御申候へ「心得申候「げにげにこれも心得たり、某が敵人謀叛人と申し上げ、御前に召し出され頭をはねられん爲な、よしよしそれもちからなし、いでいで御前に參らんと、大宋さして見渡せば「今度の早うちに、今度の早打に、上り集まる兵きら星の如く並みゐたり、さて御前には諸侍、其外數人なみ居つゝ目をひき指をさし笑ひあへる其中に「古腹巻に錆長刀、やうやうに横たへ、わるびれたる氣色もなく參りて御前に畏まる「やあいかにあれなるは佐野の源左衞門の尉常世か、これこそいつぞやの大雪に宿借りし修行者よ、見忘れてあるか、いで汝佐野にて申せしよな今にてもあれ鎌倉に御大事あるならば、千切れたりとも其の具足取つて投げかけ、錆びたりとも、其の長刀を持ち、痩せたりともあの馬に乘り一番に馳せ參るべきよし申しつる言葉の末を違へずして今度の勢使ひ全く余の儀にあらず常世が言葉の末、眞か僞か知らん爲なり、又當參の人々も、訴訟あらば申すべし、理非によつてその沙汰致すべき所なり、まづまづ沙汰のはじめには、常世が本領佐野の庄、三十餘郷返し與ふる所なり又何よりも切なりしは、大雪降つて寒かりしに、秘藏せし鉢の木を伐り、火に焚きあてし忍をば、いつの世にかは忘るべき、いで其時の鉢の木は梅櫻松にてありしよな、其の返報に加賀に梅田、越中に櫻井、上野に松枝田、合せて三箇國の庄、子々孫々に至るまで、相違ならざる自筆の狀、安堵に取添へ賜ひければ「常世はこれをたまはりて「常世はこれを賜はりて、三度頂戴仕りこれ見給へや人々よはじめ笑ひし輩も、これほどの御氣色さぞ羨ましかるらん、さて國國の諸軍勢、皆御暇たまはり古里へとてぞ歸りける「そのなかに常世は「其中に常世は悅びの眉を開きつゝ、今こそ勇め此の馬に、うち乘りて上野や、佐野の船橋とり放れし本領に安堵して歸るぞ嬉しかりける歸るぞうれしかりける

悲戀　髑髏組
（映畫上演化）　林杢兵衛　金子士郎畫

幾代の過去（十五）（百五十五）

「ネヤツ、勘藏、わりやあ儂を、斬る氣ぢやな？」

「當り前さ間拔けめ、默つて困りやア、いゝ氣になりやがつてつべこべと、あか慾の深え話を並べる護摩親爺め、此の勘藏樣を、普通のお茶屋の亭主と、思つてやがるからお目出てえや、やい色氣狂、其土の土壇に、假面の猫を、すつぽり脱いだ勘藏の、本當の名前を聞かしてやるから、地獄で閻魔の裁きを受ける時に申立てろ。小走り奴の權造に、慾の間違えで殺されやした——と……」

「そ、それぢやア手前が……」

「知れたこつた。上州板橋の喰ひ詰め者、小走り奴の權造たア儂のことだ」

「畜生ッ！　それぢやア最初から、踏み倒す氣で……」

「さうか、それでなきイア、高え利息の手前の金を、借りちや[illegible]にならねえや、愚圖々々云はねえで往生しやがれッ！」

猛然と躍り掛つた勘藏。

「うーン……」

同時にあがる、治郎右衞門の苦悶の聲。

避けて身を避ける暇もなく、グザリ——と脇腹深く突きたてられた片刃の匕首。

斷末魔の苦しみに、虚空を摑む治郎右衞門の、心臟をついて迸り出る鮮血が、丁度その下に、氣を失つてゐる幾代の胸先から背へかけて、時ならぬ紅葉を散らしたやうに、眞ッ赤に染まつた。

嘲笑に兇器を幾代の右手へ、確つかりと握らせて、薄い笑を氣味惡さうに浮べた勘藏。

「へツへゝゝざまア見やがれ、思つたより調子よく行きやアがつた」

その夜、吾妻の表は黒山のやうな人集りだつた。あとから〱詰めかける人で身動きもならない。

「どうしたんです？」

「さア、またあの髑髏組かも知れませんぜ」

「うゝん、さうぢやねッだよ、酌婦がお客を殺したんだ」

「へーン、それやまた、飛んでもねえことで御座んすね」

そんな話をして居る時、髪ふり亂して、半身眞ッ赤な血に染みた幾代が、がんじ搦みに縛られて、悄然と店先へ、血の氣のうせた眞ッ蒼の顏を現はした。

その周圍を、突く棒、さす又、袖搦みなどいかめしい捕物道具で嚴重に圍む捕方人足。

「退けッ！　退き居らぬか」

群集を、役人が咬みつくやうに叱呼した。

「出て來た〱」

「あッ！あの女だ」

「憎えねえ、胴にあんな血が付いて困やがらア」

「虫も殺さないやうなあの顏で……。世の中も、だん〱物騷になりますねえ」

騷ぎたてる人集りの中を、しよんぼりと幾代が曳かれて行く。

そのあとから、亭主の勘藏と、女房のお寅の迷惑さうな顏。これは多分證人として連行されるのだらう。面目がない。

「なんぼどうでも、客を殺すなんて、隨分ひどい女もあつたもんで御座んすねえ」

「どうせ、碌な祝儀も呉れねえ、吝な客で御座んせうよ」

「それにしても、酌婦がお客を殺すなんて、あんまりひど過ぎやしませんか？」

「さうですとも、しよつちゆう男ばかり騙してゐるくせに、その上殺すなんて、まつたく恐ろしい女もあつたもんで……」

「本當にねえ、あんな美しい顏をして、あれが本當の、外面女菩薩、内心如夜叉と云ふので御座んせうよ」